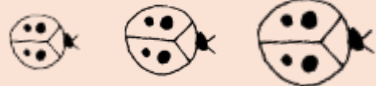


9月 

のんびりてくてく

お散歩してみませんか



9
月
号

2026年8月31日発行

発行者: (一財)古河市地域振興公社

古河公方公園(古河総合公園)

〒306-0041茨城県古河市鴻巣399-1

☎0280-47-1129

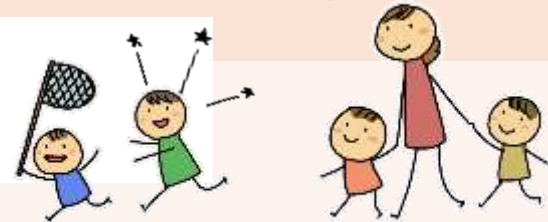
* てくてく情報は HP からダウンロードできます♪

長月 | ながつき

「長月」は「夜長月(よながつき)」が略されたもので、秋が深まり夜が長くなる季節を表しています。

てくてく情報

今年もヒガンバナがさきはじめました♪



1000を超える別名をもつ、秋を彩るヒガンバナ！

秋が近づくと、園内のあちこちに鮮やかな赤い花を咲かせる彼岸花。細く反り返った花びらが特徴的で、一度見たら忘れられない存在感があります。実はこの花、日本各地で非常に多くの呼び名を持つことをご存じでしょうか。その数は1000を超えともいわれています。美しさへの感動や毒性への警戒、さらには地域に伝わる昔話や信仰など、さまざまな思いが名前に込められてきました。今回は、数ある別名の中から印象的なものをいくつかご紹介します♪

全国的

「曼珠沙華(まんじゅしゃげ)」
仏教の経典に登場する「天上の花」に由来するとされる、彼岸花の代表的な別名です。

山口県など

「狐の提灯(きつねのちょうちん)」
狐が夜道を歩くとき、儀礼などで火をともしのがこの花と言われてるのが由来。

英語

英語では「レッドスパイダーリリー(Red Spider Lily)」や「マジックリリー(Magic Lily)」と呼ばれています。

茨城県など

「馬背花(んまぜばな)」
放射状に広がる花弁が馬のたてがみ、毒だから馬も背を向けるなどが由来となっている。

三重県など

「南無阿弥陀仏(なんまいだっぽ)」
球根の毒性から、「食べると危険」という戒めの意味を込めて呼ばれたとされる異名です。



①ヒガンバナ

2 古河公方公園の歴史さんぽ☆



②徳源院跡

徳源院跡は、永仙院・松月院とともに古河公方が開基した臨済宗円覚寺派の三カ院の一つで、その跡地は茨城県指定文化財に指定されています。



③古河公方館跡

古河公方の別館とされる鴻之巣御所跡で、御所沼に突き出た要害の地として利用され、徳源院跡とともに古河で最初の茨城県指定史跡です。



④元屋敷の桃林

旧字名「元屋敷」に由来し、かつて古河観桃会で知られた桃の名所を復元したものです。古河の桃林は、江戸時代初期に古河城主となった土井利勝によって始められたと伝えられています。

園内マップ

3

秋風にゆれるススキの小径♪



今年の十五夜は9月25日(金)です♪(満月は27日(日))



⑤ススキの小径

十五夜は中秋の名月とも呼ばれ、美しい月を眺めて楽しむお月見の文化です。中国の「中秋節」に由来し、平安時代に日本へ伝わったとされています。現代の中秋節は家族団らんを大切にする日として知られ、離れて暮らす家族も同じ月を見上げながら互いを思い、月餅を囲んで過ごします。日本の十五夜は月見団子を月にススキを稲穂に見立てて供え、月を眺めながら豊作を祈り、収穫を感謝する行事としても知られています。十五夜も中秋節も人と人とのつながりや自然と人との結びつきを感じる大切な伝統行事ですね。



Instagram アカウント



X アカウント